

市議会だより

第135号

大原のしだれ桜

もくじ

- 第1回定例会で審議した議案とその結果など … P 2 ~ P 4
- 市政に反映、皆さんの声（代表・一般質問） … P 5 ~ P 14
- 各委員会の議案等の審査結果 … P 14・P 15
- 議会の動き、編集後記など … P 16



令和3年 第1回(3月)定例会

3/1～3/25 25日間

本定例会では、条例制定や一部改正及び令和2年度の各会計の補正予算、また、令和3年度一般会計予算や特別会計予算などの審議を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第3号	水郷ひた河川を美しくする条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第4号	日田市支所設置条例の一部改正について	//
議案第5号	日田市交流・コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第6号	日田市一般職員の給与に関する条例及び日田市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について	//
議案第7号	水郷ひた応援基金条例の一部改正について	//
議案第8号	日田市税特別措置条例の一部改正について	//
議案第9号	日田市行政財産使用料条例の一部改正について	//
議案第10号	日田市手数料条例の一部改正について	//
議案第11号	日田市介護保険条例の一部改正について	原案可決(多数)
議案第12号	日田市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第13号	日田市森林等火災防止条例の一部改正について	//
議案第14号	日田市道路占用料徴収条例の一部改正について	//
議案第15号	日田市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第16号	日田市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第17号	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	//
議案第18号	辺地(南部地域)に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	//
議案第19号	日田市定住自立圏形成方針の変更について	//
議案第20号	市道路線の廃止について	//
議案第21号	市道路線の認定について	//
議案第22号	令和2年度日田市一般会計補正予算(第12号)	//
議案第23号	令和2年度日田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	//
議案第24号	令和2年度日田市介護保険特別会計補正予算(第2号)	//
議案第25号	令和2年度日田市給水施設事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第26号	令和2年度日田市情報センター事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第27号	令和2年度日田市水道事業会計補正予算(第3号)	//
議案第28号	令和2年度日田市下水道事業会計補正予算(第2号)	//
議案第29号	令和3年度日田市一般会計予算	修正可決
議案第30号	令和3年度日田市国民健康保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第31号	令和3年度日田市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(多数)
議案第32号	令和3年度日田市介護保険特別会計予算	//
議案第33号	令和3年度日田市診療所事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第34号	令和3年度日田市給水施設事業特別会計予算	//
議案第35号	令和3年度日田市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	//
議案第36号	令和3年度日田市情報センター事業特別会計予算	//
議案第37号	令和3年度日田市水道事業会計予算	//



■議案第31号

(反対討論)

後期高齢者は、後期高齢者医療保険料の軽減特例の見直しで、これまでの7.75割軽減が7割軽減となり保険料が負担増となるほか、年金の減額、介護保険料の増額などで、一層厳しい生活を強いられることにより安心して医療を受けることができず重症化の懸念が強まる。

■議案第29号

(反対討論)

中津江ホール解体工事設計業務委託料について、解体に相対する面積が整備計画、必要面積とは判断できず、面積確保を理由とした解体撤去の必要性はない。中津江ホールの廃止は白紙に戻し、今後の活用策をもとに検討すべきである。用地購入費については、議案審査の時点で基本設計に係る資料がない上、必要面積の積算にも具体性がなく、加えて、必要ない用地を購入する計画であることが、関係資料を請求した時点で初めて明らかとなるなど、用地購入の必要性と積算根拠について、納得できる説明がなかった。周辺環境や施設の整備を踏まえた適切な規模での施設整備を強く求める。

(反対討論)

事業内容の住民への説明が不十分であり、住民の合意が得られていない。上・中津江地区の自然や環境を考慮し、特色を持ち、そして幼老交流、住民との交流が図りやすい施設建設と運営が求められている。行政がしっかりとしたビジョンをつくり、必要となる土地の確保や複合施設としての特別なポイントなどを考案し、それを住民に説明し、アイデアを出し合い、合意形成を図ることが基本にあると思う。未成熟な状態で提案された事業を最初から再検討し、少しでも早く完成する必要性のあるこの福祉保健施設移転整備事業について、上津江地区、中津江地区住民との合意形成を早急に行った上での再提案を求める。

(反対討論)

中津江、上津江の高齢者生活福祉センターの統合を目指すのであれば、明確なビジョンと詳細なプランを持って、両地区での合同説明会の開催や協議を重ねていくべきだったと考える。市の事業推進が計画的ではないこと、地域の意見集約、合意形成が十分ではないこと、一般質問、議案質疑、委員会審査において不明確な点が多いことなど、予算提案の前提を満たしておらず、審議が進められる状況にないことなどを理由として、現段階ではこの予算をゼロベースに戻し、地域とのしっかりとした対話を経て、地元との協議を整えた後に、改めて、予算案を議会に提案することが最善である。

令和3年 第1回臨時会の結果

去る令和3年2月16日に開かれました臨時会の結果をお知らせします。

■臨時会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	令和2年度日田市一般会計補正予算(第11号)	原案可決(全会一致)
議案第2号	専決処分(令和2年度日田市一般会計補正予算(第10号))の承認について	原案承認(全会一致)



市政に反映 皆さんの声



令和3年第1回定例会では、3月8、9、10日の3日間にわたり、5会派の代表質問及び一般質問が行われ、18人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

【代表質問】

「新たな地域社会の創造」とはどのような事か。



市政クラブ
財津 幹雄 議員

質問 施政方針で「新たな地域社会の創造」に取り組むとしているが、どのような内容か。

市長 従来から進めている地方創生の取組と、急速に変化する社会への対応を一体的に進め、持続可能なまちづくりとコロナ禍を経て新しい日常に対応する社会を目指すものである。

質問 厳しい財政運営の中、財源不足を補う財政調整基金等をどのように確保していくか。また、市民の理解も必要だ。広報も工夫してはどうか。

部長 財政調整基金の他、減債基金、市職員退職手当基金、災害対策基金の合計で標準財政規模の30%（60億円）は確保している。令和2年度は56・8億円であり、引き続き基金残額確保に

留意する。また、市民が理解しやすいよう、分かりやすい広報に努める。

質問 新型コロナウイルス感染症対策の切り札とされるワクチン接種はどのようなようになるのか。

部長 接種推進班を設置し準備をはじめている。接種券が届いたら予約をお願いしたい。38か所の医療機関又は集団接種会場のアオーゼで接種していただく。周知や安全には万全を期す。



集団接種会場のアオーゼ

議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。





質問 課題が多様化、複雑化する中、本市を取り巻く環境や将来像を、どう捉えるか。

市長 新型コロナウイルス感染症への対応と変革を続ける社会に対応するため、施策を総合的に推進することで地方創生、新たな地域社会の創造を進めたい。

質問 新年度は、新型コロナウイルス感染症への対応と、地域経済の活性化の両方を図る施策が求められる。どのような施策を重点的に推し進めるのか。

市長 ワクチン接種などの感染症対策に万全を期し、地域経済の活性化に向けた事業者支援等を実施する。復旧・復興の取組を着実に進めるとともに、コロナ禍で急速に進む社会のデジタル化の分野を広げ、行政事務



の効率化なども進める。

質問 今後5か年で25億円近くの財源不足が見込まれる。財政の健全性確保にどう取り組むか。

市長 課税客体の確な把握による税収確保、ふるさと納税制度の周知・返礼品の充実、遊休市有地の売却を含めた有効活用に取り組む。行財政改革の推進が不可欠で、窓口業務の効率化にも努める。

【代表質問】

今までにない状況下での
当初予算編成を問う



新世ひた
中野 哲朗 議員

【代表質問】

JR日田彦山線沿線地域の
持続的な発展を求める



市民クラブ
梶原 信幸 議員

質問 グリーンスローモビリティの導入については、持続可能な運営を考え、地元との十分な議論が必要と考えるがどうか。

部長 市が主体的に導入するということではなく、大肥の郷まちづくり会議で地域の皆さん方と一緒に導入や活用について慎重な協議を進めていく。

質問 JR日田彦山線沿線地域の振興策に関する合意を契機に、小鹿田焼と小石原焼を結び観光ルートとして、地元が県に要望している新たな県道の新規路線計画を推し進めてもらいたいと思うがどうか。

部長 県境を越えた広域での観光振興、地域振興という議題の中に取り上げられるよう、今後とも引き続き県に働きかける。



JR日田彦山線沿線の桜並木

気候非常事態宣言の表明

質問 市議会が市に求めた気候非常事態宣言の表明について、市長の考えを伺う。

市長 今まで本市が行ってきた施策の検証と今後の目標を見定めた上で前向きに検討する。

質問 この他、令和3年度市政執行方針について質問した。



【代表質問】

新型コロナウイルスの検査拡充を
求める



日本共産党
日隈 知重 議員

質問 新型コロナウイルスの検査拡充について市の考えを伺う。

市長 市中感染が疑われる地域や、クラスター発生の恐れがある高齢者施設などでのPCR検査の実施は、感染拡大防止に有効である。本市では感染状況も落ち着いており、これまでの検査体制が十分機能している。

質問 使い道の決まっていないコロナ対応地方創生臨時交付金1億1100万円を活用し、高齢者施設や障害者施設、医療機関などで、社会的検査を実施するよう、早急に判断した方が良いのではないか。

市長 施設でクラスターが発生しない状況を確認した方が良い。なるべく早い段階で、今後の対応を決めたい。

質問 市は65歳以上の介護保険料を年2200円値上げする。上げ幅を抑制するために、介護給付費準備基金の全額を取り崩すことは考えなかったのか。

部長 後期高齢者の増加で介護給付費が令和6年度から約3億円増える。第9期の介護保険料の急激な増加を抑えるため、基金が必要となる。

PCR等検査実施結果 (令和3年3月31日 15時00分更新)					
本日の検査数	陽性	陰性	【参考】検査数 (累計)		
554人	1人	553人	92,321人		
検査陽性者の状況					
陽性患者数 (累計)	入院中	宿泊療養	入院調整	退院	死亡
1,309人	8人	1人	1人	1,277人	22人

PCR検査結果 (大分県HP)

【代表質問】

新型コロナウイルスの
ワクチン接種計画は
どうなっているのか！



公明党
松野 勝美 議員

質問 本市の接種計画を伺う。

部長 国からのワクチン供給量にもよるが、市の基本的な考えとしては、昨年の新型コロナウイルス感染症の拡大状況から見て、インフルエンザの流行期と重なることがないよう、接種希望者への実施を本年10月までには完了したい。

質問 接種方法として示された集団接種と個別接種は、接種希望者が選べるのか。

部長 選べるが、かかりつけ医がある方については、そちらで相談して、どちらか決めていたきたい。

質問 副反応の1つであるアナフィラキシーショックへの対応として、接種後に希望すれば会場で待機できるか伺う。

部長 接種後、最低15分間は会場に留まり、経過を見ることとなる。

質問 防災ラジオの普及を進めていく上で、市民の声を聞き、対応を考えてはどうか。

部長 自治会長の意見を聞き、普及につながる対策を講じる。

質問 この他、森林環境譲与税、住民自治組織について質問した。





【一般質問】

市民参画のまちづくりの
現状と課題



市政クラブ
高倉 貴子 議員

質問 隈地区では市民自らが発意し専門家の伴走を得て、まちあるきを通じた地域課題の点検と解決への意見交換を鋭意展開中だ。コロナ禍をはじめ社会不安や政治不信が増大する中、日田市自治基本条例が導く市民協働や市民参画を促すには行政の真摯な対応が問われる。

部長 以前より、市民まちづくり集会、意見交換を含む事業説明会、パブリックコメント、市民意識調査などを実施したが、職員的能力形成へ向けた研修はなく、現場体験を重視している。

質問 市民が政策立案に関わる市民参画の推進には職員的能力形成が欠かせない。

市長 現場で職員が話を聞き、市民へ寄り添う心構えが必要だ。



隈町のガリバーマップ

質問 市民を育むため公共図書館の役割は重要だ。せっかくの利用者アンケートにおいて、図書館の未来像を問う質問を高校生にしなかったのは何故か。

教育次長 市外へ転出することが多い高校生には答えにくいと判断し除外した。

質問 これからの図書館像こそ次世代へ問うべきだ。

市長 今初めて知ったが、残念。問うべきだった。

【一般質問】

中津江・上津江地区
高齢者福祉施設統合の
協議状況は



新世ひた
三苫 誠 議員

質問 上津江と中津江の高齢者生活福祉センター統合に関する地元との合意の状況を伺う。

部長 居住棟については上津江の方にも了解をいただいているが、デイサービス等については了解をいただいていない。

質問 上津江地区の居住棟統合の了解を得ている根拠は何か。

部長 説明会等で色々な意見が出たが、居住棟を中津江に持つていくことに対する反対意見ではなく、デイサービス等に関する意見が多かったことから、了解していると考えている。

質問 このような公共施設の統合は住民参加と理解の下に進めていくべきではないか。

市長 早急に結論を出して住民サービスの拠点を作るのが行政



上津江高齢者生活福祉センター「やすらぎ苑」

の責任である。これに関しては、ある程度強硬的に判断していくことも必要と考える。

大丸福岡天神店アンテナショップの閉店とその後の対応

質問 閉店後の対応対策を聞く。

部長 日田玖珠地域産業振興センターが主体となり、民間事業者と連携した販路開拓を側面から支援していく。



【一般質問】

新型コロナウイルス
感染症の影響に対する
取組について



市政クラブ
宮崎 陽治 議員

質問 中小企業等緊急支援事業

について売上が50%以上減少した事業者が対象となっているが、補助要件の枠を広げるなどの検討は行われたか伺う。

部長 商工団体、関係団体との意見交換を行う中で、第3波の影響の大きい事業者に対し、重点的に支援することにした。

質問 飲食業界で運用されている現在のガイドラインをどう考えているか伺う。

部長 業界団体、大分県がガイドラインを作成している。この取組をお願いしたい。

質問 市がサポートする形で事業者、利用者相互で共有できる市独自のガイドラインの策定を検討できないか伺う。

部長 業界団体が自主的に取り

組むことが大事であると考えている。

質問 夕方のコロナ関連の放送を、感染防止に努力する市民や、困窮する事業者が前向きになれるよう、エールを送る放送にできないか伺う。

部長 防災行政無線という性格上、前向きなエールを送ることは難しい。



【一般質問】

統廃合後の小学校跡地
活用対策事業の
取組期限はいつまでか



市政クラブ
安達 明成 議員

質問 統廃合後の小学校跡地

活用対策事業で、未着手の旧台小学校、旧桜竹小学校跡地の今後の取組の方向性について問う。

部長 地域の意向や実情も踏まえながら協議を進め、合併特例債の活用期限である令和6年度には事業を完了したい。

質問 天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト
設置する地元協議会の内容と進め方について問う。

部長 天ヶ瀬温泉街未来創造まちづくり会議（仮）は、地元の各班、旅館組合、商工会、観光協会選出の20代から40代の人で構成し、ビジョン作成とまちづくりに取り組む。この協議会の事務局は、地域に密着した「あまみら」にと考えており、市は、側面からバックアップをしてい

く。

質問 そのような地元の取組に対して、市長の考えを問う。

市長 地域では、将来活気のある地域づくりを進めていきたいという思いで活動している。よい提案をしていただいたので、本格的な事業に対してはタイムリーにやっていきたい。



旧台小学校



旧桜竹小学校



【一般質問】

防災ラジオの配布について



市政クラブ 岩見 泉哉 議員

質問 防災ラジオについて、当初の配布計画と、昨年の災害時の活用状況を伺う。

部長 住民登録者数や、公共施設等で必要な分を見込み、2万6220台を購入した。昨年の災害時には乾電池のみでは2、3日しか持たない課題も発生したが、有効な情報伝達手段であることが確認できた。

質問 現在の配布状況を伺う。
部長 本年3月1日時点で2万7415世帯中、1万7810世帯が申請しており、申請率は65%となっている。

質問 現時点でも35%が未申請である。在庫が過剰ではないか。
部長 申請に結びつくよう、防災ラジオの有用性を周知できなかったことは反省点である。



防災ラジオ

質問 事前に申請数を把握する取組が必要ではなかったか。
部長 市としては、全世帯に配置して頂くという思いの中で計画したものである。

質問 在庫は金額にして約1億4000万円になると思うが、配布できない場合の対応を伺う。
部長 在庫のままでも有効活用がなされていないければ当然、国から指摘を受けることになる。申請率の向上に力を入れていく。

【一般質問】

小学5・6生への教科担任制の導入



市民クラブ 溝口 千寿 議員

質問 中央教育審議会は1月の答申取りまとめで、小学校5、6年生に算数・理科・英語の3教科で教科担任制の導入を明記した。その実現のための対処策を伺う。

教育長 教科担任制の導入は教育内容等の充実を図るため、小学校高学年での専門的な指導の充実や学級担任制と一部教科担任制を併用した指導の必要性が示されていた。県教委はこれを踏まえ、様々な取組を実施し、県下で教科担任制の推進に取組んでいる。本市でも8校で先行して取り組んでいる。

質問 文部科学省によると、授業の質が高まること、また現在の教育制度に比べて負担が減る等の効果が述べられているが、

現状では、実現困難ではないか。
教育長 答申では、教員の専門性を活かした分かりやすい授業や学習指導の充実のほか、一つの学級に複数の教員が関わることで多面的な児童理解が可能になることをはじめ、生徒指導の充実、中学進学時の学習環境変化への不安解消につながることを期待している。





【一般質問】

献血推進事業における市の取組について



市政クラブ 原田 裕文 議員

質問 厚生労働省は都道府県に献血会場の確保等を支援する通知を出しているが内容を伺う。

部長 令和3年1月7日付、事務連絡で、コロナ禍の緊急事態宣言下でも献血事業の継続を周知し、会場の確保等、献血への協力を依頼する内容である。

質問 若者の献血離れの中で、市教委として、献血が社会への貢献につながることを学ぶ授業を行っているのか伺う。

教育次長 献血に関わる学習は、学習指導要領には位置付けされていないが、小学校4年生の道徳授業で、献血を題材にした物語の中で、命の大切さや自他を思う心を深める学習をしている。

質問 大分県赤十字センターでは、若年層や社会人に献血の知



識と必要性を理解する献血セミナーを開催している中で、令和元年度、県内2校の中学校で受講の実績があるが、市教委では取組ができないか伺う。

教育次長 総合的な学習の中で、献血セミナーの取組周知を図る。
質問 この他、人・農地プランの実質化について質問した。

【一般質問】

今後、ひたpayと宿泊券をセットで販売予定



市政クラブ 梅原 竜也 議員

質問 おおいた味力クーポンは、6月末まで延長となった。コロナに負けるな！商品券発行事業は5月末で終了するが、期間延長等は考えていないのか伺う。

部長 市の商品券は、資金決済に関する法律があり、有効期限が発効から6ヶ月となっている。おおいた味力クーポンは、国が発行主体であり規制を受けない。

質問 このクーポン事業の後に次の一手を考えているか伺う。

部長 ひたpayの商品券と宿泊券をセットにした日田式GOTOキャンペーン事業で、域外の方に買っていただき、日田市で消費してもらうことで景気対策につなげることを考えている。

質問 現在のクーポン参加店は、約500事業所であり日田市に

は約4000事業所ある中でなるべく多くの事業所に参加して頂くことを願う。

質問 令和7年度までに小学校の全学年が35人学級となるが、普通教室は不足しないのか伺う。
教育次長 令和7年度には、現在より生徒数が260人以上減少し、普通教室は不足しないと見込んでいる。



三隈川からの温泉街



【一般質問】

新型コロナウイルス
対策と非常勤特別職等の
処遇改善



市政クラブ
佐藤 功 議員

質問 コロナ禍における事業所

への経済的影響を考慮すれば、特に4割減収が続いた事業所への支援は市の役割ではないか。

市長 景況感として押しなべて言えばそれほど悪い状況ではない。支援の在り方として広く裾野を開き、なるべく厚く給付することを考えた。

質問 手持ち資金に余裕がなくなりつつあることが推察される調査結果があり、経営環境も改善の兆しが見えない。次の手を打っておくべきではないか。

市長 ワクチン接種後の状況を見極めながら状況に合わせた形で取り組んでいきたい。

質問 消防団員確保のための処遇改善はどう考えているか。

部長 国の方針が夏までに示さ

れる。報酬、出動手当などの検討を始め、必要であれば令和3年度中に見直したい。

質問 スポーツ推進委員の報酬は県下の状況や全国の平均値と比較してどう判断しているか。

次長 全国平均と比較して低い水準にあり、活動用の被服貸与と併せ見直しを図る。

民生委員の定数見直し

質問 次の改選に向けて定数の見直しを県と協議できないか。

部長 関係団体等の意見を聞き、県に意見を上げていきたい。



【一般質問】

ワクチン接種について
様々な対応を求めよう！



新世ひた
居川 太城 議員

質問 新型コロナウイルスワクチン接種について、他市ではホームページ等に特設コーナーを設けている例もあるが、本市ではどのように周知していくか。

部長 高齢者に対しては紙媒体等の文字を重要視してチラシ等で伝えていく。

質問 周辺部の方々や高齢者に対する、ワクチン接種会場への移動手段の配慮をどのように考えるのか。

部長 周辺部についてはデマンドバスを活用して、その地区にある個別の接種会場に行っていないことを考えている。また、それ以外でも地区で10名程度のまとまった人数があれば、バスを準備して送迎することを検討している。

質問 優先的にワクチン接種を受ける範囲として、障害福祉や児童福祉サービス従事者も優先すべきと考えるが、配慮はないのか。

部長 優先することを検討していきたい。

質問 市長はワクチン接種の順番が来れば、周知啓発も含めて率先して受ける予定か。

市長 順番が来れば受けたいと考える。





【一般質問】

特別支援教育活動
サポート補助職員
5人増員



日本共産党
大谷 敏彰 議員

質問 学校では特別な支援が必要な児童生徒が増加し、学校現場からの要望86人に対し、45人の配置となっている。増員の考えはないのか伺う。

教育長 発達障がいを含む特別な支援が必要な児童生徒への学習支援、生活支援、情緒面の支援を補助的に行う職員は、令和3年度は5人増員し、50人の予算を提案している。児童生徒の実態や学校の支援体制などを見極めながら適切な配置に努める。

質問 生活保護制度は厚生労働省が作ったわかりやすいチラシを配布し、また扶養照会を廃止する考えはないか伺う。

部長 福祉保健部の窓口にも、そのようなチラシを置きたい。扶養照会の国の通知が改正され、

扶養義務履行が期待できないものの例として縁が切られているもの、10年程度音信不通であることなどに改めた。扶養照会の要否を大きく改正してはいない。

質問 国民健康保険制度の子どもの均等割を、中学生から高校生まで拡大し減免してはどうか。

市長 コロナの影響を懸念している。高校生の問題は別の観点から今後検討していきたい。



【一般質問】

持続可能な農業生産を
目指す取組を



公明党
坂本 茂 議員

質問 コロナ禍における農産物の生産販売の状況を伺う。

部長 外食店などで利用する野菜が、前年比で2〜3割減少し、畜産関係にも影響を与えている。一方では、家庭内での消費増加により、スーパーや量販店での販売は、前年より増加している。

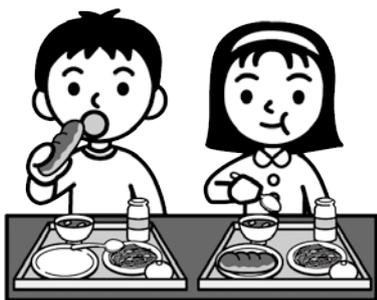
質問 地域支援型農業や国際水準（GAP）などを推進し、持続可能な農業生産を目指すべきではないか。市の考えを伺う。

部長 地域支援型農業は、消費者と生産者が支え合う仕組みであり、新しい生活様式の中では、物事や心の動きが重要になる。令和3年度が農業振興ビジョンの見直しなので、その中の検討課題とする。GAPについては、大分県版を導入しながら、

県と連携し取組を広げていく。

質問 食育推進の観点から、学校給食での国産、地場産品の活用状況を伺う。

教育次長 お米は日田産で、野菜類も可能な限り日田産を使用している。大分県産、国産と優先順位を設けて、市内の生産者にも発注しており、新たな地場産農産物、生産者の発掘についても取り組んでいる。





【一般質問】

市道片山徳瀬線、徳瀬橋の早期改修を求めろ！



市政クラブ 坂本 盛男 議員

質問 災害から8か月が経過したが、被災した徳瀬橋は南友田地区の生活道路であるため、早急な掛替工事が急務である。復旧へ向けた進捗状況を伺う。

部長 復旧に向け、測量や被害状況の調査、復旧工法の検討を行い、国及び県との協議を重ねてきた。撤去工事を発注し、着手に向けた準備を進めているところである。

質問 農業振興のうち、高齢化に伴う担い手不足への対策及び耕作放棄地の現状について伺う。

部長 日田市の農業就業人口は65歳以上が65%を占めている。後継者の育成として、ファーマーズスクールでの研修から就農に結びつけていく方法や、親元で農業を継いでいく方に対する



被災した徳瀬橋

給付金の制度、集落営農組織の強化などに取り組んでいる。耕作放棄地については、所有者へ意向調査を行い、農地の貸付や移譲などのあっせんを行っているが、地理的な理由等から借り手が見つからない状況にある。質問 この他、日田市自殺対策計画、公用自動車の低燃費車の導入について質問した。

報告

各委員会の議案等の審査結果

総務環境委員会

グリーンスローモビリティの活用は地域の理解と合意を踏まえた十分な協議を

大肥の郷まちづくり振興事業 (新規 50万円)

大鶴・夜明地区の復興を進めるため、まちづくり会議を発足し、住民と一緒に地域活性化のデザインを描き、地域振興の取組を進めていくものです。特にグリーンスローモビリティの活用については、費用対効果、運行の安全性、地域の利用見込み等を十分に協議し、地域の理解と合意を踏まえて、事業の方向性を出すよう要望しました。

ひた暮らしPR事業

(新規 842万7千円)

本市の魅力と移住・定住に関するきめ細やかな情報発信やオンラインでの相談体制の強化、

民間団体との協働による受入体制の整備、拡充を行うものです。このうち、移住前から移住後まで一貫したサポートを行う移住支え合い事業委託については、プロポーザル方式で事業者を選定し3年間の委託契約を結びことから、専門性などの選定要件を十分に検討し、慎重に事業者を選定するよう要望しました。

乗合タクシー運行事業

令和2年4月からバス路線の代替交通手段として7路線を新設しましたが、利用者が見込みを下回ったことなどを理由として、昨年度より減額した予算の提案となっております。新設分を含めどこに課題があるのか、乗り継ぎや事前予約の方法に問題はないかなど、利用者の意見を聞き、多くの市民が利用できる運行となるよう要望しました。





●教育福祉委員会●

中津江地区福祉保健施設移転
整備事業の予算を一部減額

令和3年度日田市一般会計予算のうち、中津江地区福祉保健施設移転整備事業については、執行部の事業の進め方や、地元との協議状況を確認する中で、「災害からの早期復旧や、事業自体の必要性は理解するが、住民との合意が前提である」「用地購入費とホール解体の設計委託料については、施設のレイアウトがはっきり決定していない状況での予算計上である」「地元との合意が取れているか不明であり、まずはゼロからの見直しが必要である」などの意見がありました。

種々論議を重ねた結果、委員より2つの修正案が提案されました。それぞれの修正案の内容は、①用地購入費と中津江ホールの解体工事設計委託料を削減

し、福祉センターの建設実施設計の予算のみを認めるもの②福祉センター建設の実設計費も含めた、この事業費の全額を減額するものです。

両案についての質疑、討論を経て採決に臨んだ結果、①の事業費の一部を減額する案を委員会修正案として決定しました。

本会議での委員長報告では、上・中津江地区の住民との合意形成ができていないと到底言えず、地域住民に不安と混乱を生じる可能性があることを指摘し、引き続き地元との協議を進めるよう要望しました。なお、この修正案は、本会議でも賛成多数で可決されました。



中津江地区の被災状況

●産業建設委員会●

国・県・市が連携した
事業者への支援を要望

●コロナ禍における事業者への
支援を要望

全国的に見ればコロナウイルスの変異株も拡大傾向で、予断を許さない状況の中、市内経済においては業種によっては厳しい経営状況下で行政の支援を待ち望んでいます。国・県の各種経済対策と連携し、地域経済の浮揚の一助となるよう、引き続き市を挙げて取り組むよう要望しました。

●ひたで働く魅力発信事業
(新規 306万3千円)

この事業は、学生等を対象に市内企業への就職を促進するため、大分県が福岡市に設置しているU-Jターン支援拠点「dot. (ドット)」を活用したイベントや情報発信等を行うものです。事業実施に当たっては、

福祉保健部の保育士等確保定着事業と連携して、多くの域外の学生等に情報が行き届くように努め、日田市内の企業で働きたい、働くことができる動機付けとなるよう要望しました。

●雨水貯留施設設置補助事業

この事業は、浸水被害の軽減に向け、雨水の河川等への流出を抑制する貯留槽等の設置を促進するため、費用の一部を助成するものです。平成30年度に事業を開始して以来、補助件数は低調で事業効果が発揮されていないことから、改めて事業内容の周知を徹底し、設置増加に努めるよう要望しました。



市販の雨水貯留槽



第2回(6月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

6月10日(木)	本会議(議案説明)
16日(水)	本会議(一般質問)
~(金)	
18日(金)	
22日(火)	本会議(議案質疑)
23日(水)	委員会(議案審査)
~(金)	
25日(金)	
29日(火)	本会議(討論・採決)

日田市、日田玖珠広域消防組合公平委員会委員の選任

次の方を選任することに同意しました。

赤尾 重信 氏(本庄町)

人権擁護委員の推薦

次の方々を推薦することに同意しました。

畔津 憲一 氏(天神町)

川野 一美 氏(竹田新町)

春の全国交通安全運動 —議員が街頭活動—

日田市議会は4月8日(木)、春の全国交通安全運動期間に合わせて街頭活動を行いました。

今回も、新型コロナウイルス感染症対策として啓発グッズの配布は中止しましたが、日田警察署や大分県交通安全協会日田支部にご協力いただき、午後5時過ぎから市役所前交差点で交通事故防止や早めのヘッドライトの点灯等呼びかけました。



◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎08214)へ。市議会だよりは、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A 虚礼廃止にご理解とご協力を!

- Q** 自治会や老人会等の各種団体の総会に案内を受けた議員が、ご祝儀やお酒を持参して出席することができますか。
- A** ご祝儀やお酒は寄附に当たりますので、罰則をもって禁止されています。
- Q** 地区のお祭等に際し、議員がお酒、ご祝儀を出すことができますか。
- A** 寄附に当たりますので、罰則をもって禁止されています。

この他、議員が、地区運動会などで寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・お歳暮・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

編集後記

今号の発行で2年間の委員任期が終わります。編集委員会では紙面の文字を読みやすいものに変更するなど「手に取って読んでもらえる議会だより」を目指してきました。

コロナ禍においては、状況に応じて取材を控えるなど、編集にも大きな影響がありました。議会の状況を皆さんへ伝え、関心を持ってもらうための方策を考えてきたところです。

次号からは新しい委員の手により、さらに「親しみやすく、関心を持ってもらえる議会だより」へと変わっていくことを期待します。

皆さんからの声もお待ちしております。引き続き、ご意見などをお寄せください。

(議会報編集委員会委員)

飯田茂男

